

TRANSLOG2011

講演発表者の皆様へ

日本機械学会論文集 C編

(機械力学, 計測, 自動制御, 機械要素, 潤滑, 設計, 生産加工, 生産システムなど)

第78巻 第793号 2012年10月号(予定)に

## 特集号『TRANSLOG2011』

を企画いたします

「我が国における交通・物流分野の最新研究技術動向」  
である皆様の研究成果を“特集TRANSLOG2011”号  
に掲載しましょう！ふるってご投稿ください

|   |
|---|
| 投稿開始 2011年12月15日(木)<br>原稿〆切 2012年2月15日(金) |
|---|

- 投稿論文は、第20回 交通・物流部門大会(TRANSLOG2011)での講演とディスカッションを経たものに限られます
- 投稿プロセスは通常の論文投稿と同じです。日本機械学会論文集へ投稿申込の際に、Web上で掲載希望特集号として“C1特:TRANSLOG2011”をお選びいただくだけです
- また国際的な論文発信を目指し、交通・物流部門の英文ジャーナル *Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics (JMTL)* への投稿も歓迎致します

TRANSLOG2011実行委員長:石田弘明(鉄道総合技術研究所)

(裏面もご覧下さい)

\*\*\*\*\*

投稿にあたっては以下の点にご注意ください。

詳細は日本機械学会HPをご覧ください。

(<http://www.jsme.or.jp/transact.html>)

・特集号に投稿された論文も通常と同様に論文編修委員会による校閲・審査が行われ、掲載可否が決定されます。

・投稿連絡者は日本機械学会の個人会員に限ります。会員でない方を連絡者として投稿する場合は、先に会員登録を行っていただくようお願いします。

・投稿規定・執筆要綱に則り、また、論文集テンプレートファイルを使って原稿を作成してください。いずれも日本機械学会HPにおいて確認、入手可能です。

・掲載後は所定の掲載料をお支払いいただきます。

・「技術論文」のカテゴリーでの投稿も歓迎いたします。「技術論文」は明確な開発目的があり、技術的新規性と有用性、信頼性を重視し、速報性のある技術的内容を含むものが対象で、「論文」ほど完結性は求められません。ベースになる理論自体に学術的な新規性はなくても、その活用技術や利用方法にオリジナリティがあり、データに信用性があるものは技術論文になります。

\*\*\*\*\*

**「国際的な論文発信」を目指される方には、海外からのアクセス数の多い、交通・物流部門の英文ジャーナル**

*Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics (JMTL)* への投稿を是非ともお薦め致します。

**詳細は以下のHPをご覧ください。**

([http://www.i-product.biz/jsme/data/jmtl/jmtl\\_index.html](http://www.i-product.biz/jsme/data/jmtl/jmtl_index.html))